

## 第 57 回水環境懇話会のご案内

拝啓 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第 57 回水環境懇話会を下記のとおり開催致しますので、お誘い合わせの上、ご参加頂きますよう、よろしくお願い致します。

敬具

### 記

- 日時 : 2023 年 11 月 8 日 (水) 17:30~19:00 頃 (受付・入場 : 17:00)
- 場所 : 現地会場での開催と Zoom を用いた web 会議システムを併用  
現地会場 : 株式会社明電舎 大崎会館 2 階 第 2 会議室  
JR 大崎駅西口より徒歩 5 分  
(アクセス : <https://goo.gl/maps/FQwrGFhWosfx4zRq8>)
- 費用 : 不要
- 参加資格 : 日本水環境学会の個人会員、団体正会員または学生会員  
あるいは今後会員となることを検討している方
- 参加登録 : 所属、氏名、連絡先 (メールアドレス)、参加方法 (現地開催 or web 会議)  
を明記の上、お申込み下さい  
2023年11月2日 (木) を締め切りとします
- 定員 : 会場 : 40名、web : 100名
- お申し込み先 : メタウォーター株式会社 久本祐資 03-6853-7368  
電子メール [hisamoto-yusuke@metawater.co.jp](mailto:hisamoto-yusuke@metawater.co.jp)
- 参加方法 : 現地開催の場合、会場に直接お越しく下さい。  
web 会議システムの場合、開催 2 日前までに参加用 URL をお送りいたします。
- 主催 : 公益社団法人 日本水環境学会 産官学協力委員会 水環境懇話会
- 講演 : 「カビ臭発生藻類の監視強化に向けた取り組み-遺伝子検査は有用か?-」  
京都大学大学院 工学研究科  
准教授 浅田 安廣 (アサダ ヤスヒロ) 様
- 講演概要 : 気候変動の影響もあり、カビ臭原因物質による水道の異臭味問題は、東北、北海道といった寒冷地域まで拡大している。これらは生物由来によるものであり、特に藍藻類による影響が大きな割合を占めている。対策の一つとしては、水源での藻類の監視強化が挙げられるが、従来の監視は光学顕微鏡による形態観察であり、多くの経験が必要となる。そこで、本講演では、問題となるカビ臭発生藻類を提示すると共に、遺伝子検査を組み込んだ新たな監視手法について紹介する。
- 以上
- \* 懇話会終了後、会場近辺で意見交流会 (割勘制) を 19:30 より開催しますので併せて御参加下さい。